

— 東京理科大学 —

2月9日 (火) B方式 工学部 英語

解答・解説

1 (1) 2 (2) 4 (3) 1 (4) 1 (5) 3 (6) 3 (7) 4 (8) 1 (9) 1 (10) 4 (11) 2

- (1) 2 「コピー理論が正しければ、科学者は創造的ではないということになってしまう」第1段落の内容を踏まえて考える。
- (2) 4 「論理的な経験主義は、観察することの重要性を強調する」第2段落前半の内容から判断する。
- (3) 1 「観察されたデータは、普通2つ以上の理論と一致しない」第3段落 [A] から後の内容から判断する。
- (4) [B] を含む1文の主語は Jonas Salk で、続く the developer of the first successful vaccine against polio と同格関係。動詞が described で第5文型。this が目的語で [B] process が補語。「これを創造的過程と言う」という意味になる。
- (5) 本文の classical は「典型的な」という意味。
- (6) 下線部④の it は接続詞 as が導く節の主語。because 節の主語(=light from those stars)と一致している。
- (7) 第5段落第5文より判断する。
- (8) 第5段落最終文より判断する。
- (9) 本文の foundation は「基礎、基盤」という意味。
- (10) 最終段落最終文より判断する。
- (11) 2 「科学者は創造的である」本文全体を通して述べられているテーマをつかむ。

2 (1) 1 (2) 3 (3) 4 (4) A 3 B 4 C 1 D 2 E 4 (5) 4 (6) 1 (7) 2 (8) 4

- (1) 第1段落第4文より判断する。
- (2) the last to laugh は「最も笑わないであろう人」in case you seem less cool than you are は「あなたが実際によりもクールでないように見えるといけないので」という意味。
- (3) 第3段落第5文、後半の could you…で始まる箇所(依頼を表す)から判断する。
- (4) A by definition 「定義上」
 B refer to A as B 「AをBと言う、呼ぶ」
 C after~ing 「~する(した)後で」
 D in exchange for~ 「~と引き替えに」
 E of a different kind 「別種の」
- (5) 4 「なぜならニックのジョークは、一般市場向けに売られるためのものでないからである」第6段落後半の内容から判断する。
- (6) 1 「もしニックが大人になってプロのコメディアンになる、あるいはあなたがプロのダイバーになるなら」この文の主節「かれのジョークとあなたのダイブが商品になる」に注目する。
- (7) お金にはならない…という観点から選択肢を検討する。
- (8) 最終段落最終文より判断する。

3 (1) 3 (2) 3 (3) 4 (4) 1 (5) 4 (6) 1 (7) 2 (8) 2 (9) 4 (10) 4 (11) 3 (12) 1

- (13) 1 (14) 1 (15) 2 (16) 1 (17) 3 (18) 1 (19) 3 (20) 4
- (1) on one's behalf 「〈人〉に代わって」
- (2) be liable [to...] 「〔問題などを〕抱えやすい」

- (3) この場合の *though* は副詞。文中・文末に置かれ「でも、けれども」という意味。
 (4) *given*(後に *that* が導く節を伴い)「…であることを考慮に入れると」
 (5) *substantial*「相当な、たくさんの」
 (6) *be unwilling to do*「…する気がしない、気が進まない」
 (7) *safely*「差し支えなく、ほぼ間違いなく、問題なく」
 (8) *on hold*「延期して、(一時)保留して」
 (9) *see to it that*…「…するように取り計らう、…するように気をつける」
 (10) *sort out*「解決する」
 (11) 関係代名詞を含む文。普通の代名詞に直しもとの2文を想定すると次の通り。

The train system needs to be improved. / We all depend upon it.

↑ 先行詞

- (12) *make sense*「〈文などが〉意味が通じる、わかりやすい、道理にかなう」
 (13) *followed by*…「引き続いて…、さらに…が続く」分詞構文で *being* が省略されている。
 (14) *take…for granted*「…を当然のことと思う」
 (15) *forbidden*「(規則などで)禁じられた」
 (16) *unauthorized*「公認[認可]されていない」
 (17) *How I wish I could*「…することができればどんなに良いでしょう」
 (18) *have someone in peace*「(人)をそっとしておく、(人)の邪魔をしない」
 (19) *drop A a line*「…に一筆書き送る」
 (20) 複合関係代名詞 *whatever*「…するものは何でも」

4 (1) 2 (2) 4 (3) 2 (4) 2 (5) 2 (6) 3 (7) 3 (8) 1 (9) 2 (10) 4 (11) 2 (12) 1

(13) 4 (14) 3 (15) 4 (16) 2 (17) 4 (18) 3 (19) 3 (20) 1

- (1) *die out*「〈家系・種族が〉絶滅する、絶える」
 (2) 「来年までで、彼女は20年間その会社で働いていることになる」現在完了進行形を用いる。
 (3) *if* が導く節が目的語になっている。「…するかどうか」
 (4) *surprising*「驚かせるような、驚くべき」
 (5) *but for*「(仮定法で)…がなければ(なかったならば)」問題文は仮定法過去完了。
 (6) *rather than*「…よりむしろ」
 (7) *without*～ing「～しないで」*ever* は否定語(この場合は *without*)共に用いられ「これまでに(一度も…しない)」という意味。
 (8) *react* は自動詞「反応する」「…に」を表す前置詞句は *to* 以下。
 (9) *substitute A for B*「AをBの代わりに用いる」
 (10) *proceed*「続ける」
 (11) *candidate*「候補者」
 (12) *extremely*「極度に、非常に」
 (13) *out of order*「〈施設・機械などが〉調子が悪く、故障して」
 (14) *run*「〈川・水・涙などが〉流れる」

- (15) seed 「種, 種子」
- (16) authority 「権威」
- (17) be reluctant to do 「〈人が〉…したくない, することに気が進まない」
- (18) 関係副詞の where。she grew up が名詞の欠落のない完全文であることがポイント。
- (19) the weather forecast 「天気予報」
- (20) 仮定法の if が省略されている。倒置が起こり疑問文の語順になっている。

5 (1) 2nd 5 6th 1 (2) 2nd 2 6th 5 (3) 2nd 5 6th 7 (4) 2nd 3 6th 7 (5) 2nd 4 6th 7

- (1) Possessing much information is not necessarily equivalent to having a means of pursuing the truth.
be equivalent to 「…に相当する」 means 「手段」 この文では単数扱いとなっている。
- (2) Some may point out that this extreme tendency has deprived many people of knowledge developed outside this country.
deprive A of B 「A から B を奪う」 developed 以下過去分詞・形容詞用法で、knowledge を修飾している。
- (3) These different factors determine the way works of art are created and the extent to which they are valued by society.
determine の the way と the extent が成すそれぞれの句。共に関係詞の修飾を受けている。
- (4) Being an adult is learning how to own your opinion.
learning 以下、この文の補語になっている。
- (5) Things would be totally different if he had any consideration toward others.
仮定法過去の文。

総評

- 1 「科学とは？」というテーマに基づいた文章。決して平易ではないですが、標準レベルの構文把握力・語彙力がしっかり備わっていれば、7割以上の正解は見込めるような出題です。
- 2 1に比べると読みやすい印象を持つかもしれませんが、「金銭的価値という観点からは測れない価値のあるものが存在する」という、この文章を流れるテーマをつかめるかがポイントです。
- 3 和文英訳・適語補充選択問題です。文法的側面が問われている(典型的なのは(11))問題もありますが、概ね語彙力を試す問題です。紛らわしいものは後回しにして、できれば7割くらいは正解したいところです。
- 4 短文空欄補充選択問題です。3の問題の「日本語がない」版の問題といった感じです。ただし3に比べると文法力を試す問題が多いです。
- 5 和文英訳・語句整序問題です。やや難しく感じたかもしれませんが、5問中できれば3問は正解したいところです。

～全体を通して～

決して易しい問題ではありませんが、「勉強していれば対応できる」レベルであると言えそうです。英語で最低でも6割、できれば7割以上得点できると、他の受験生に差をつけることができそうです。ただし特に英語と言う教科は、一朝一夕に得点力を向上させることはできません。高3・高卒生共に「受験生」と呼ばれる1年間の中で、夏までに英語の学習の基礎を万全にできるかどうかが大切になってきます。